

フードバンク

事業分野	保健・医療・福祉	協働の形態	事業協力				
実施主体	行政	福祉部生活援護課					
	協働相手	半田市社会福祉協議会、市民、企業等					
	(内訳)	市民	地域コミュ	活動団体	NPO法人等	事業者	教育機関
		0人	0団体	0団体	0団体	1者	0校
実施期間	令和2年3月～	過去3年間 平均予算額	2,000千円				
協働のゴール	地域全体でフードバンクの活動を理解し、食品ロス削減と生活困窮者支援に取り組む。						
ポイント	「もったいない」を「ありがとう」に！ 食品ロス削減と生活困窮者世帯の支援、2つの課題解決を図る仕組み。						
協働に至る経緯と背景							
<p>コロナ禍の令和2年3月、社協が活動を開始したが、保管場所が手狭となり、令和3年11月に民家を借用し、フードバンク「はんだむすびんの家」を設置した。</p> <p>現在は雁宿ホールの駐車場の一角を食材保管庫として活用し、市民や企業・団体など支援の輪を広げながら運営している。当初、NPO法人セカンドハーベスト名古屋から、社協と市、各々で食料を調達していたが、送料負担の問題もあり、令和5年度からは市が支援物資購入に係る予算を新たに計上して、社協のフードバンクと連携して取り組んでいる。</p>							
事業内容と行政・協働相手それぞれの事業への関与の仕方							
<p>社協：企業や個人から寄付された食品等を生活困窮者やボランティア団体（子ども食堂など）に提供する。</p> <p>行政：ふるさと納税の「貧困家庭への支援に関する事業」への寄付及び個人等からの寄付をもとに、子ども食堂への提供用として肉類、生活困窮者への提供用としてバランス栄養食やレトルト食品等、学校教育課の相談員から要望のあった児童・生徒の体操服・学用品等を購入している。また、生活援護課窓口で経済的困窮により食料品の支援に関する相談があった場合は、社協と連携して食料を提供している。</p>							
協働相手からの意見・評価							

不足する食料等を柔軟に調達することができる体制となっている。
市の登録業者に発注する必要があり、少しでも安く多く入手したいジレンマがある。

受益者からの意見・評価

子ども食堂の運営側から、肉類の提供は子どもたちにとっても喜ばれているとのこと。

協働して良かった点や成果、及び今後の課題・展望

個人や企業からの寄付のみでは補えない、受益者のニーズに寄り添った食品等を調達・提供することができる。

令和7年度から社協の赤い羽根の「テーマ型募金」が廃止されるため、資金調達に関し課題がある。また、保管庫を継続的に使用することが可能かなど、事業の運営の基盤である施設・設備面で課題がある。

活動の様子（写真、チラシ等）

半田市社会福祉協議会ホームページより

【フードドライブ4月実績】ご支援ありがとうございます

フードドライブへの
ご協力、ありがとうございます！

4月実績と、
毎月ご支援いただいている方のご紹介です😊

ご支援いただいた食品 311.77Kg
お渡しした件数 27世帯 12団体



毎回たくさんくださる
ハロー半田店さん・シンコーサポートさん



地域の方から旬のお野菜とレトルト食品

いつもあたたかいご支援をありがとうございます。
いただいた食品は、地域の子ども食堂や
支援を必要とされている方へお届けしています。
引き続きご協力よろしくお願ひします😊

委員会総括評価

社会福祉協議会を始め関係機関と連携を密にし、生活困窮者への食料品の提供や児童・生徒の学用品等の購入といった、ニーズに合わせた支援が適切に行われており、食品ロス削減と生活困窮者世帯の支援という2つの課題解決を図っている点を評価しています。

助言・提言

物価高騰や生活困窮者の増加等により、今後、寄付される食料品や予算が不足することを心配されているかと思いますが、例えば、支援が必要な方の分は必ず確保するというように、担当課として、どこまで支援するかを改めて整理してみてもいかがでしょうか。

対応状況・今後の取組

内部運用では、原則として支援は3回までとしているところ、生活困窮者の状態や状況に応じ柔軟に対応しております。また、実績が伸び続けていた被保護世帯以外の困窮家庭にある子どもの学用品（リコーダー、ジャージ等）に対する支援について、限られた予算の中で一定の運用基準の設定が課題でしたが、令和8年度から、学用品支援に賛同いただいた一般の方から定期的に寄付をいただけることとなり、当事業とは別枠で、学校教育課により運用が開始される予定となりました。生活困窮者への支援につきましては、引き続き必要な方に確実に支援が届くよう取り組んでまいります。

なお、令和8年2月には、株式会社バローホールディングスから家庭の余剰食品を寄付できる「フードドライブポスト」が寄贈されました。民間事業者のご協力により、多種多様な食料品の集約や、困っている方を地域ぐるみで支え合う機運醸成が期待できます。今後とも寄付物品の有効活用に努めてまいります。